

芝山湿地ぞより

第6号 平成28年3月8日 千葉県立船橋芝山高等学校・里山生態園「芝山湿地」 ロゴデザイン：齊藤優貴美

餅つきしました！



1月21日、「湿地に学ぶ」履修者全員で、学校ビオトープ「芝山湿地」の水田で栽培したもち米（ハッピーヒルという品種）を使って、餅つきをしました！餅つき初体験の生徒が多かったですが、阿部先生の指導のもと、男子も女子もテキパキと作業し、美味しいお餅が2臼できました。つきたてのお餅は、「お汁粉」と「きなこ餅」にして、美味しくいただきました！

神仁穂米を炊きました！

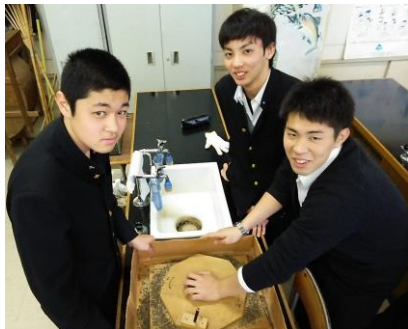
「芝山湿地」では、昨年に続き、神仁穂（かんにほ）という品種の稲を育てました。神仁穂は、芒（のぎ）がとても長く、稲穂が真っ赤になる品種です。精米した状態では、普通のお米と同じに見えますが、土鍋で炊くと・・・写真のように、ほんのり赤いご飯になります。これは、糖とアミノ酸が化合するメイラード反応によって生成した「メラノイジン」の色ではないかと思われまます。神仁穂のご飯は、とても旨味が強いので。ちなみに、メラノイジンは、味噌の色素でもあります。



●担当者より～芝山湿地の一年を振り返って～●

●一年間「芝山湿地」で勉強してきて、どうだったでしょうか？米づくりを理解することで、これからの人生にプラスのこと、あったでしょうか。ごく普通の生活の一部を切り取った形の勉強だったので、ひとつひとつの事柄に再認識の驚きがあったことでしょう。これからは、御飯を食べるとき、お餅を食べるとき、高校での授業を思い出すことでしょうか。いや、思い出してもらいたいものです。また、将来、親になったときの子育てにも役立つと思いますよ！餅つきの経験をさせてあげましょう。（阿部）

●学校設定科目「湿地に学ぶ」は、船橋芝山高等学校とその周囲の四季の自然の中で、身体を動かして学ぶ、ステキな科目です。泥んこになって稲をつくり、トンボと戯れ、お餅をお腹いっぱい食べた経験は、一生の財産です。元気で働き者の皆さんと勉強できて、私も楽しかったです。ありがとうございました。（下山）



粃摺り & 風選

収穫した稲は、手作業でゴリゴリと時間をかけて粃摺り（もみすり）をして、「唐箕（とうみ）」という器具を使って、風選します。唐箕の羽根を手で回して、風で粃殻（もみがら）と玄米を分けます。

「湿地に学ぶ」を履修して～生徒の感想～

4月、初めて芝山湿地に入った時の感想は、虫が多くてイヤだなーと思いました。初めての種まきは、下山先生たちが優しく教えてくれてとても楽しかった記憶があります。夏休み明けは、草が生い茂っていて、とても草刈りが大変でした。それからは一瞬で12月の脱穀になってしまいました。

1年間の「湿地に学ぶ」の授業で最も印象に残っているのが、稲作です。小学生の頃にバケツで稲を育てることを経験していたけど、比べられないくらい大きな水田を使って稲作が出来たのは、この先の人生ではなかなか出来ないことだし、とても貴重な体験が出来た。普段スーパーで買っている5kgのお米を作るのに、どれだけ大変な行程があるのか知れたことで、今まで以上に食べ物を大切にしようと考え直せました。

田植えは、初めてやったけど、本当にたいへんだったし、腰も痛くなったけど、稲がどんどん大きくなっていく様子だったり、収穫作業の時に刈り取る時、こんなに大きくなったんだなあと思って感動した。稲から粒を取ったり、それを粃摺りしたりするのは、めっちゃ大変だったけど、餅を食べれたから良かった。最初は、テストが無いから選んだけど、やっていくうちに、「湿地に学ぶ」をとって良かったと思えた。今までやったことも無いし、これからも出来ないような体験を、いろいろ出来たのは、本当に良かった。座学でも、「湿地に学ぶ」をとらないと学べないことをたくさん学べたので、良かった。前は、虫が本当に嫌いで、関わりたいくもないと思ってたけれど、「湿地に学ぶ」のおかげで、少しは興味が出来たし、慣れたから良かった。1年間ありがとうございました。

3年生になって、初めて芝山湿地に入って感動しました。未開の地に入った気分でした。井戸が特にビビりました。正直、井戸って言われても、うーんって感じだったけど、いざ水を汲んでみると、水がバンバン湧いてくるのが見えて、驚きました。湿地には、色々な生物がいて、驚きました。クモの巣にバツを投げたら、クモがメチャクチャ速くバツを捕獲したのは、とても印象に残っています。とても楽しかったです。

「湿地に学ぶ」を通して、色々なことを学びました。普段やらないような田植えや農業を体験することが出来て、良い経験になりました。雨の時の湿地はとてもきれいで、感動しました。機会があれば、またこういう体験をしてみたいです。

湿地では、普段できない、湿地でしかできないことを、多く体験することができ、とても良い経験になりました。教室での授業は、ごくまれに寝てしまうこともありましたが、しっかりと受けることができたので良かったです。お餅、美味しかったです。

最初は、「湿地に学ぶ」の授業について、ここまで労働させられるとは思っていませんでした。でも、次第に、自然についての知識や命の重要性なども理解し、成長できたと思います。

芝山湿地は、斜面林や谷津田を再現している。そして、芝山湿地には、471種類の動植物が生息している。驚いたのは、芝山湿地に28種類のレッドデータブック記載種が生息していることです。正直、芝山湿地がここまですごいものだとは思っていませんでした。授業の中で、たくさんの植物や動物とふれあうことができて、とても良かった。芝山高校ならではの授業なので、1年生や2年生にも薦めたいです。

1年間の授業を通して、知らなかったことを沢山知ることができて、楽しかったです。芝山湿地の豊かな自然に癒やされました。米作りは、普通に過ごしていて、なかなか出来ない事なので、こうして授業で体験できて、楽しかったです。また、栽培についての授業や学名のことなども、興味深く楽しかったです。本当に滅多にできない経験でした。1年間ありがとうございました。

まず、芝山高校に、あんな場所があったとは、初めて知りました。今回、人生初めて田植えなどやって、こんなに大変なんだと感じた。湿地に行くたび、見たことのない植物、さまざまな虫などがいて、驚くことも沢山あった。また、季節ごとに湿地の景色が変わっていったり、下山先生や阿部先生の教室での授業も、勉強にはあまり関係ないけど、これから生きていく上での基礎知識だったり、知っていると損はないことなども学べて、とても充実していた。田植えや草刈り、木の切り倒し、土掘りなどの湿地の作業は、腰や手、腕が痛くなったり、夏は暑くて虫が多いし、正直しんどかったけど、この湿地のメンバーと色々なことを体験して、楽しかった。最後に食べた餅も、すごくおいしくて、自分で育てて作ったものがこんなに美味しいのかと思ったのと同時に、働いてこういことなんだと感じた。1年間ありがとうございました。

私たちが今生活しているだけでは使わない道具や体験できないこと、それを高校の授業でできているのは、農業高校などを除いて、芝山高校だけじゃないかと思います。いつもスーパーで買うものを育てたり、ミョウガや柿を収穫したり、自然の味をダイレクトに感じられるのは、良かったです。せっかく田んぼを広げたいし、後輩にも宣伝したので、次の年からもっと良いものを作って欲しいと思います。この1年間で、たくさんのことを湿地から学びました。たくさん湿地に足を運び、畑でハツカダイコンを育て、田んぼで稲を育て、小川でメダカを観察し、柿を収穫し、たくさん自然の恵みを受けました。特に、稲→餅までの過程は、貴重な体験となりました。湿地でしか体験できないことが出来て、良かったです。

今年、こういった珍しい体験をできて良かった。色々なことを学べて、ためになった。珍しい科目という興味本位で選択したけど、とても良かった。ありがとうございました。